

せんだん

岩国市立米川小学校だより

令和4年度 No.8 12月1日発行

米川小学校長



〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

ふれあいフェスタが行われました



去る11月19日(土)にふれあいフェスタが行われました。コロナ禍ではありますが、昨年度より来校者制限を緩和して約100名の参加がありました。この会は、日ごろから学校運営を支えてくださっている方々に「笑顔で感謝」を伝えるために計画されたものです。子供達は自分たちが安心して安全に学校生活を送れているのは、多くの方々の力添えがあることをよく知っています。その方々に感謝の気持ちを伝えるべく、歌の練習をしたりお店の準備をしたりしました。

まずはオープニングの音楽発表からです。各学年が、今まで音楽の時間に学習したことの披露です。緊張の様子がうかがえましたが、それでも一生懸命な姿は聴いていて心打たれるものがありました。それぞれ学年の特徴が、上手に表現されていたと思います。続いて「みんなで遊ぼう」のコーナーです。お店の内容も学年で変化に富んでいて、大変工夫されたものになっていました。お店の前に並ぶお客さんへの対応や、少なくなった時の呼び込みの様子など見ていると、相手を意識した運営を心掛けているのがよくわかりました。遊びが終わると、6年生の発表です。「古代人プロジェクト」と題して、グループごとに調べたことを報告しました。その後、今年度初めての試みで、子供達から直接感謝の言葉を伝える場を設けました。お世話になっている地域の方に前に並んでいただきました。ここにおいてにならなかった方もたくさんおられますが、子供達にはいろんな方面で多く方から力が寄せられていることを改めて感じてほしいと思っています。最後に、前回のCS会議で話に挙がった「おやじの会の催し」である全体レクリエーションで、長縄対決をしました。5分間の中で、おやじたちの跳んだ回数を超えることをめざして挑戦しました。結果は2チームがおやじの壁を超えることができ、勝利することができました。

午前中の時間いっぱいを使って行われたふれあいフェスタですが、私はこのフェスタを通して、学校・保護者・地域の一体感を感じました。お店を開いている最中、校舎中に笑顔があふれていました。子供達と大人の温かい言葉のやり取りが広がっていました。長縄に挑戦している間、必死になって回数を増やそうと跳んでいる人と、それを励まし応援する人の気持ちが一つになり、終わった時には自然と拍手が広がりました。この一体感と温かさが、米川地区だと感じました。これからも学校から子供達の笑顔を広げ、地域から笑顔を学校に届けていただく。そんな素敵な関係を継続していきたいと思っています。

12月・1月のおもな行事予定

12月 1日(木)	持久走大会	1月10日(火)	始業式、給食開始
8日(木)	火災想定避難訓練	18日(水)	学校保健安全委員会 参観日、CS会議
13日(火)	1年 4校時授業 2年以上 5校時授業	26日(木)	なわとび大会
14日(水)	全校5校時授業(～16日)		
21日(水)	希望者個人懇談(～22日)		
23日(金)	終業式、給食終了		
24日(土)	冬季休業(～1/9)		



周東中 職場体験



本校の卒業生でもある、2名の周東中2年生が、2日間の職場体験にきました。



玖西地区小学校音楽会



3年ぶりに音楽会が開催されました。本校からは5・6年生が代表で出演しました。無観客で行われましたが、アイキャンでの放送が決まっています。

【放送日】

12月12日(月)～18日(日)
11:00～、19:00～

ふれあいフェスタ



体育館では・・・

掲示板前では



玄関前では・・・

各教室では・・・



学校だよりのご意見・ご感想は、いつでもご連絡ください。(米川小：84-0607)